

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2008-14892(P2008-14892A)
 【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報2008-003
 【出願番号】特願2006-188911(P2006-188911)
 【国際特許分類】

G 2 1 K 4/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/61 (2006.01)

C 0 9 K 11/00 (2006.01)

【F I】

G 2 1 K 4/00 L

C 0 9 K 11/61 C P F

C 0 9 K 11/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月23日(2009.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気相堆積法によって形成された蛍光体層を有する放射線画像変換パネルであって、前記蛍光体層が、柱状結晶からなるものであり、かつ、この柱状結晶の柱径分布が2以上のピークを有することを特徴とする放射線画像変換パネル。

【請求項2】

前記柱径分布のピークの内、最も柱径の大きなピークの柱径をRとした際に、それ以外のピークの柱径rが、

$$0.4R < r < 0.8R$$

である請求項1に記載の放射線画像変換パネル。

【請求項3】

前記蛍光体層が、一般式「CsBr:Eu」で示される輝尽性蛍光体からなるものである請求項1または2に記載の放射線画像変換パネル。

【請求項4】

2以上の異なる径の凸部を形成してなる凹凸状で、かつ、前記凸部の最大径をR、その他の凸部の径をrとした際に「 $0.4R < r < 0.8R$ 」を満たす基板に、気相堆積法によって蛍光体層を形成することを特徴とする放射線画像変換パネルの製造方法。